

# 小坂井 実 議員

清流クラブ

## 南海トラフ巨大地震 最終報告について

問

5月28日、内閣府より南海トラフ巨大地震対策の最終報告があり、南海トラフで起こる大地震を現在の手法で予知することは困難であると発表された中、対策について尋ねる。

(1) 同報無線設置当時、支柱に海抜ゼロメートルの表示を提案した際、市民に不安を与えるといけないので公共施設内の支柱のみに表示したはずだが、東日本大震災後には、全ての支柱に表示された。震災前と震災後では市側の思いが変わったのか。

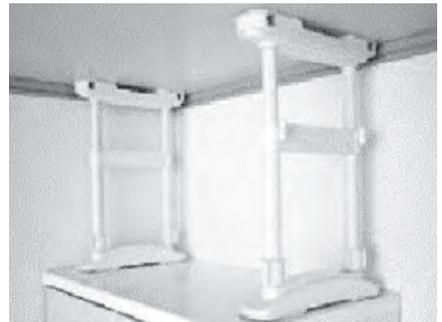
(2) 水害時は市全員被災者となる。そのような状況の場合、避難者のトリアージ【2】についての考えは。

トリアージはフランス語で「選別」。救急救命の現場で患者の緊急度、重症度を即座に判断して、治療の優先度を見極める意味で使われてきた。これを避難者にも検討しているという考え。

例えば、住宅被害が大きい人や高齢者、乳幼児がいる家庭などを優先するといった、弱い立場の被災者を優先して避難所に受け入れ、被災が比較的軽かった人に帰宅を促す。

(3) 復興よりも防災にかける費用は何分の1かで済む、足りると言われている

◀転倒防止グッズ



中、転倒防止突っ張り棒やL型金具を1組ぐらい市民に見本として配り、取りそろえるような考えを持っているか。

住民と一緒に防災・減災に取り組む

答 市長

(1) 市民に南海トラフの大地震問題についてしっかりと意識をしてもらおう意味を込め対応した。

(2) 避難所は、高齢者、障がい者だから受け入れることができるのか、健常者だからお断りするのは、到底言えるものではない。まず

は避難所に避難し、少し落ちついた段階で、災害弱者と言われる高齢者、身体に障がいを持つ方は、市が指定する施設(福祉避難所)に移動していくというような状況をつくり上げるのが本意である。

答 防災安全課長

(3) PRの方法については、自主防災会などで見本として使っていただけのように何組か用意し貸し出すので活用して欲しい。

## 金魚以外の市の 地場産業について

問

農業分野の特産品【1】について尋ねる。

金魚以外に何を拡大すべきか。

また、市として推薦する特産品はあるか。

弥富市の主要農産物

米5千960トン、県下9位。小麦千340トン、県下5位。大豆622トン、県下4位。トマト3千270トン、県下4位。

後継者も多量にトマトの生産に力を入れたい

答 農政課長

トマトについては、21年度にJAあいち海部がトマトの選果機を導入し、出荷作業の省力化や産地体制の強化など、力強い産地形成を目指している。



▶選果機によるトマトの選別 (JAあいち海部 鍋田支店 集出荷場・寛延)